定量用プロピコナゾール　プロピコナゾール、定量用を見よ。
定量用ベタイン　（略）
（略）
プロピオン酸　（略）
プロピコナゾール、定量用　$C_{15}H_{17}Cl_2N_3O_2$　［60207―90―１］

本品は、透明で粘稠（ちゅう）な液体又は無～黄色の半ゲル状の物質である。

含量　本品は、プロピコナゾール（$C_{15}H_{17}Cl_2N_3O_2$）97.0％以上を含む。

確認試験　本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定するとき、波数2960cm^{-1}、2870cm^{-1}、1587cm^{-1}、1506cm^{-1}、1466cm^{-1}、1273cm^{-1}、1138cm^{-1}及び1028cm^{-1}付近に吸収を認める。ただし、窓板は塩化ナトリウムを使用する。

比重　d_{20}^{20}＝1.288～1.290

定量法　本品約40mg及び１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4約４mgをそれぞれ精密に量り、重水素化アセトン４mLを加えて溶かす。この液を外径５mmのＮＭＲ試料管に入れ、密閉し、次の操作条件でプロトン共鳴周波数400MHz以上の装置を用いて^{1}HNMRスペクトルを測定する。１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4のシグナルをδ 0.00ppmとし、δ 7.05～7.13ppm付近のシグナルの面積強度Ａ（水素数１に相当）を算出する。１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4のシグナルの面積強度を18.00としたときのＡの換算値をＩとし、１，４－ＢＴＭＳＢ－d_4の純度をＰ（％）とし、次式によりプロピコナゾールの含量を求める。なお、本品由来のδ 7.05～7.13ppm付近のシグナルについて、明らかな混在物のシグナルが重なっていないことを確認する。

$$\text{プロピコナゾール（}C_{15}H_{17}Cl_2N_3O_2\text{）の含量（％）} = \frac{\text{１，４－ＢＴＭＳＢ－}d_4\text{の採取量（mg）} \times \text{Ｉ} \times \text{Ｐ}}{\text{試料の採取量（mg）}} \times 1.511$$

操作条件

デジタル分解能　0.25以下
スピニング　オフ
^{13}C核デカップリング　あり
取り込み時間　４秒以上
観測スペクトル幅　－５～15ppmを含む20ppm以上
パルス角　90°
繰り返しパルス待ち時間　64秒以上
ダミースキャン　２回以上
積算回数　８回以上
測定温度　20～30℃の一定温度

プロピレングリコール　（略）
（略）

２．～10.　（略）

11．参照赤外吸収スペクトル

（略）
プロピオン酸ベンジル
（略）

（新設）
定量用ベタイン　（略）
（略）
プロピオン酸　（略）
（新設）

プロピレングリコール　（略）
（略）

２．～10.　（略）

11．参照赤外吸収スペクトル

（略）
プロピオン酸ベンジル
（略）